

各位



2025年9月29日 株式会社テンダ

証券コード:4198 東証スタンダード市場

【TRAN-DX 第3弾!】RPA コストを大幅削減

~テンダのセンター共通利用型クラウド RPA、導入 450 件を突破~

株式会社テンダ(本社/東京都渋谷区、代表取締役会長兼社長 CEO/薗部 晃、以下「テンダ」)が 提供する「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」(特許出願中) は、**累計導入数 450 件を突破しました。**

本サービスは、クラウド上でRPAを一元管理し、多拠点・多店舗の業務を低コストで効率化します。 また、テンダの企業向けDXソリューション『TRAN-DX』の主要機能として、お客様の声を反映し た継続的な機能改善を重ね、高い評価を獲得しました。少子高齢化や人手不足で自動化ニーズが高ま る中、コスト効率とアップデートの継続性が支持され、特に自動車ディーラーを中心に採用が拡大し ています。



■『TRAN-DX』とは

『TRAN-DX』は、テンダが提供する現場主導型の DX ソリューションです。

RPA・AI・ノーコード DB を統合し、現場スタッフが自ら業務改善を進められる仕組みを実現します。 「誰でも、すぐに、簡単に」をコンセプトに、単なる自動化にとどまらず、現場とデジタルを融合さ



せ、企業全体の働き方を自然に進化させることを目指しています。

■「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」開発の背景

RPA(Robotic Process Automation)は、ソフトウェアロボットを使うことで、定型的な PC 上の操作 全般を自動化する技術です。人手不足や業務量の増大が常態化する中、RPA は定常業務からの脱却を 図る有効な手段として広く導入されています。

しかし、従来の個別開発型 RPA は利用端末台数分のライセンス購入が必要であり、利用環境に合わせた最適化(カスタマイズ)が必要な場合があるなど、拠点数や端末数が増えるほどライセンス費用と運用負荷が膨らむという課題がありました。テンダはこの課題を根本から解決し、多拠点企業が初期投資を抑えつつ DX を推進できる新しいモデルを提供します。

■「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」について

テンダの「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」は、<u>クラウド上の"センター"に RPA</u>を導入し、複数拠点の処理を"センター"で集約して行います。利用端末 1 台ごとに RPA 導入する必要がないため、開発コストや運用コストを大幅に削減することが可能です。特に、他拠点・多店舗業態での業務効率化にスケールメリットを発揮します。

通常のRPAと同様に、分析資料作成、日次・月次の処理、サイトの情報更新、営業資料作成など、さまざまな用途でご利用いただくことができます。

<「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」の強み>

✓ クラウド集中処理でライセンス費用を最大 1/20 に削減

拠点や端末ごとにロボットを配置する必要がなく、サーバーライセンスのみで大規模導入が可能。 20 台規模から投資回収を見込めます。

✓ 幅広い業務をカバーする高い汎用性

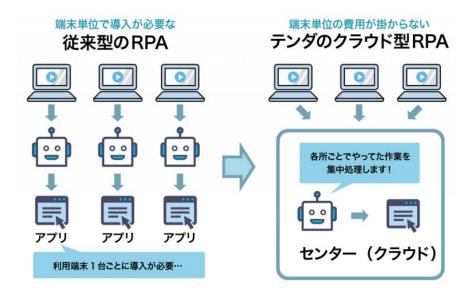
仮想 Windows 上で動作するため、ブラウザ・基幹システム・Office 文書など複数アプリをまたぐ自動化が可能。Excel とメールが使える端末なら iPad 等のモバイルでも利用できます。

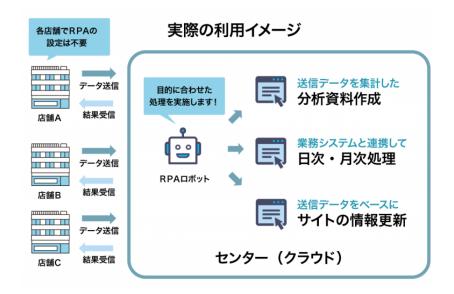
✓ 利用環境への依存度が低く、導入・運用がシンプル

端末側に RPA ツールをインストールする必要がないため、セキュリティポリシーが厳しい環境でも 導入が容易です。



<従来型とテンダ版のイメージ>





■「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」の主な機能アップデートのご紹介

1. 入力受付最大件数の改善

従来 1 メールあたり最大 300 件までだったレコード (データ) 件数を、現在では最大 2 万件まで対応。お客様によるメール送信作業の手間を大幅に削減しました。

2. 処理回数の効率化

従来は時間ベースでの処理(最大1日9回)だったところを、レコード数に応じて即時処理へ変更。 軽微な処理も即座に対応可能となりました。

3. 処理の優先順位変更対応

急ぎの案件には優先的に対応する機能を実装。業務上の柔軟性が高まり、現場での利便性が向上しま



した。

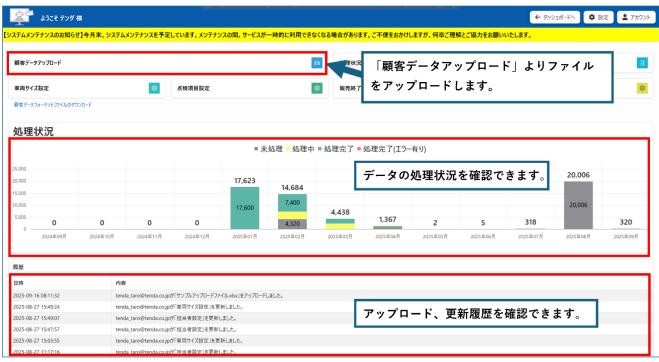
4. 現在開発中:処理申請(入力シート受付)の Web 化

従来のメール送信方式に加え、専用の Web 画面での入力受付機能開発を進めています。加えて、以下の機能も実装予定です。特に、メール送信方式では処理の受付状況を通知する仕組みがなく、申請エラーがわからないという課題を解消いたします。

- ✔ 申請受付時に、データにエラーがないか自動判定
- ✔ 処理状況の見える化
- ✔ 間違った申請を行ってしまった場合のキャンセルが可能
- ✔ 設定をリアルタイムで更新可能
- ✔ 月ごとの処理件数がわかる機能を実装

■開発中の Web 画面

【ダッシュボード (メイン画面)】





【送信情報編集画面】



【処理状況確認画面】





■今後の展開について

今後も、テンダの『TRAN-DX』の一部である『センター共通利用型クラウド RPA ソリューション』をさまざまな業界・業種へ展開し、お客さまの業務効率化・自動化、コスト削減による競争力強化に貢献してまいります。

■ご参考:テンダの DX について

『センター共通利用型クラウド RPA ソリューションの詳細については、下記よりお問い合わせください。無料相談やデモ体験などのお申し込みも受け付けております。

- ・ お問い合わせ:https://dx.tenda.co.jp/contact/
- ・ 「センター共通利用型クラウド RPA ソリューション」紹介ページ: https://dx.tenda.co.jp/service/cloud-rpa/
- ・ 「テンダの DX」紹介ページ:https://dx.tenda.co.jp/
- ・ 「TRAN-DX」紹介ページ:https://dx.tenda.co.jp/service/tran-dx/



<株式会社テンダ 概要>

【本社所在地】東京都渋谷区渋谷 2-24-12 WeWork 渋谷スクランブルスクエア内

【設立】1995年6月

【代表者】代表取締役会長兼社長 CEO 蘭部晃

【資本金】325百万円(2025年5月末日時点)

【事業内容】DX ソリューション事業、Techwise コンサルティング事業、ゲームコンテンツ事業

[URL] https://www.tenda.co.jp/

【採用情報】https://recruit.tenda.co.jp/

取材に関するお問い合わせ

株式会社テンダ IR 担当 E-mail: cc_ir@tenda.co.jp

※当社はリモートワークを実施しておりますので、お問い合わせは上記メールアドレスまでお願いいたします。